

Ⅳ-3 親への接し方・子育てアドバイス

子育て広場には、今日もたくさんの親子が訪れ、子どもたちの笑い声が響いています。子どもたちは地域の方に見守られながら、元気に遊んでいます。かたわらではお母さんたちが子どもたちのお世話をしている地域の方と話をしています。お母さんたちも子育てについていろいろな悩みがあるようです。

ワーク1 「つい上の子に……」

●お母さんが次のように話しかけてきました。それぞれの場合について考えてみましょう。



うちは下の子がまだ小さい。どうしても下の子に手がかかって「お兄ちゃんやき、ちょっとぐらい待てるろう？」とか、あんまりうるさいとついお兄ちゃんばかりにきつく言うてしもうて。こんな風にいつも機嫌よく遊んでくれていたら優しくなれるけど。
家では怒ってばかりやし、私って本当にだめよねえ……。

●あなたならどのように答えますか？吹き出しの中に書いてみましょう。



●グループの人の考えも聞いてみましょう。



ワーク2 「私は子どものために一生懸命やっているのに・・・」



うちのお姉ちゃんは小学校2年生なんやけど、本当に忘れ物が多くて困っているんです。前の日には準備しておくように何度も言っているし、朝は必ず忘れ物はないかって声をかけているんですよ。自分でやらせないとためにならないと思って手は出さないようにしているんです。本当にどう言っても子どものほうはまったくのんきで……。私はこの子のことを思って一生懸命やりゆうのに……。もう、どうしたらいいかわからん……。

- お母さんの対応についてどう思いますか。

- あなただったらどのように答えますか。



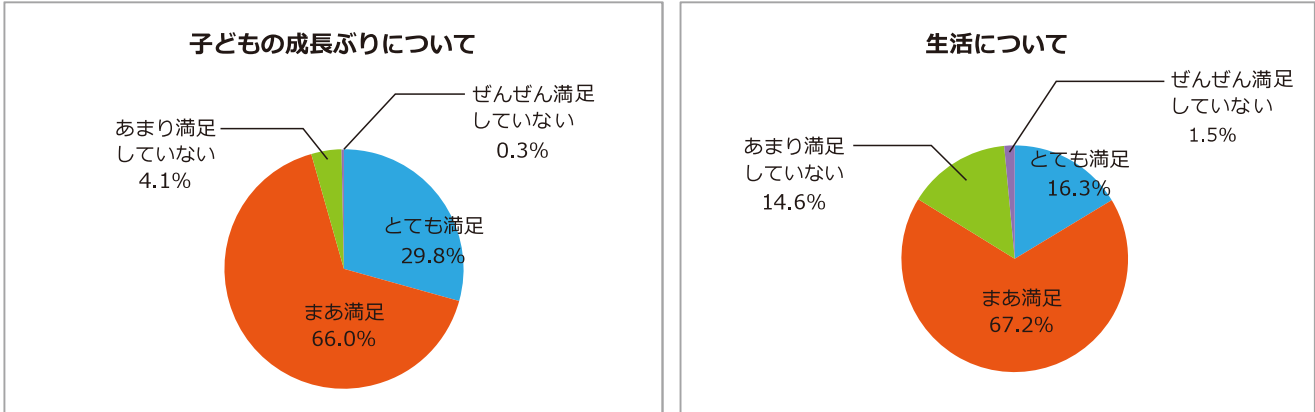
- ・グループの人の考えも聞いてみましょう。
- ・子育て中の親世代は子育てについてどう思っているでしょう。アンケート (P.78) を見てみましょう。

ふりかえり

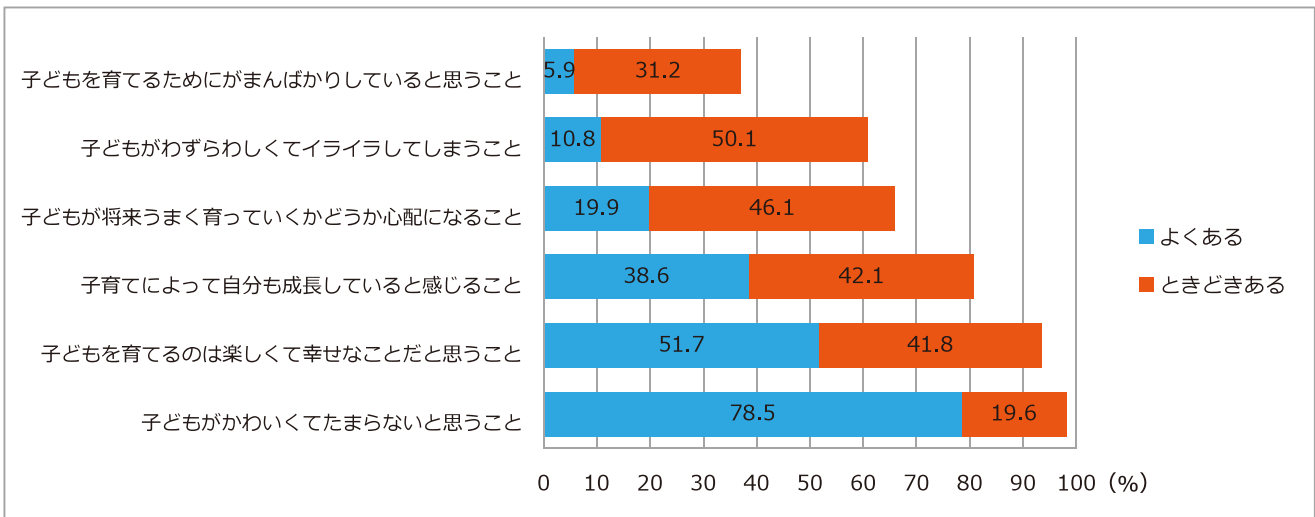
- 自分の中で感じたことや考えが変わったことがあれば書いてみましょう。

子育て意識について

現在の生活や子育てに満足していますか

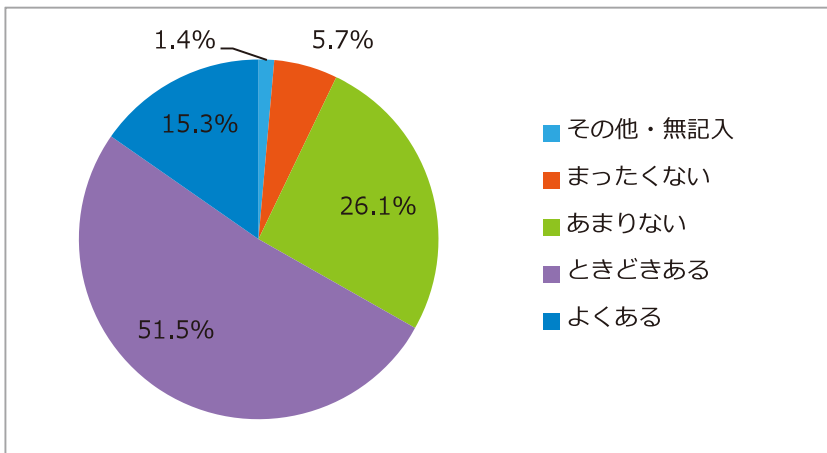


子育てに関してどのような意識がありますか



出典:第3回幼児の生活アンケート調査(2005年度版) Benesse 教育研究開発センターより

育児に自信がなくなることがありますか



出典:第3次岡山いきいき子どもプランの策定に関する県民意識調査より

ねらい	子育て中の親への関わり方や相手が受け入れやすい支援のあり方について考える。		
実施のポイント (評価など)	○グループ内で十分に他の考えを聞くことができる。 ○支援をしていくうえで、子育て中の親の話をしっかり聞いて気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることも大切であることに気付くことができる。		
事前準備	○名札 ○筆記用具 ○資料 ○あらかじめ4名程度のグループに分かれておく		
時 間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導 入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・自由に飾らずに意見を出し合うためのウォーミングアップをする。	名札
展 開 15分	ワーク1 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	◎自分の思いを考えることやグループ内でそれぞれの考えを聞くことを通して、自分の受け止め方や考え方を振り返ることをねらいとする。 (ワーク2でも同様) ・自分に自信がもてない親の気持ちを聞いた時の受け答えを考える。	
20分	ワーク2 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	◎子育て中の親の気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることが大切であることに気付くことをねらいとする。 ・子どものことを思って自分はがんばっているのに、うまくいかないと思っている親の対応についてどう思うか、また自分ならどのように答えるかを考える。	
5分	自己紹介 ・子育て意識に関する資料の説明を聞く。 ・気付いたことを発表し合う。	◎多くの親は子育てに不安をもっており、支援していく必要があることに気付くことをねらいとする。	資料(P.78)
まとめ 10分	ふりかえり ・各自の思いを記入する。 ・各自の思いを紹介し、共有する。	・時間があれば、全体の場で多くの人の感想を共有できるようにする。 ・参加者が学習に取り組んだこと自体が大変すばらしいことであることを伝える。	

※時間が取れない場合は、ワーク1、ワーク2のどちらかだけを行う。